

地域の宝を地域の絆で生かすまち



「一番高い山が  
八高山です！」

大井川の対岸から見た八高山

いとうさき  
伊藤紗妃さん  
(五和小5年)

古くから住民の心のよりどころとして敬われ、北五和地区<sup>きたごか</sup>を見守ってきた地域の宝の一つ「八高山<sup>はっこうさん</sup>」。近年の健康志向の高まりも重なり、市内外から多くの登山者を呼び寄せています。今回は、地域の宝を生かして人と人のつながりを生み出す、北五和地区の取り組みを紹介します。

# 地域の宝を地域で磨く

地域に訪れる登山者への「おもてなしの心」で、さまざまな活動に取り組んでいる北五和地区。活動を通じて生まれた地域の絆は、住民たちの地域活性化を目指す意欲をかき立てています。

## 地域と関わり育む自立



駿遠学園生徒による美化活動

皆さんが気持ちよく登山できるよう、子どもたちと一緒に八高山の環境美化活動を行っています。ぜひ、多くの人に訪れてほしいです。

おかもらい  
岡村玲さん（駿遠学園職員）

北五和地区に立地する「駿遠学園」では、職能訓練コースの生徒が八高山を登り、帰りはコース上の環境整備をしながら下山しています。

「地域における社会的自立の力を身に付ける」ことを目指し、地域で実施するお祭りなどの行事にも率先して参加。SLや八高山といった観光資源に囲まれたこの地域に住む人たちの関わりは、子どもたちの将来に向けた自立を後押ししています。

## 住民によるコース保全

私たちは、おもてなしの気持ちでコースの維持管理に努めています。登山者からの要望などにも耳を傾け、できることはすくに対応しています。

やまざきこうぞう  
山崎弘造さん（高熊町内会長）



北五和地区では、11月に開催する白光神社のお祭りや秋のハイキングシーズンの到来を前に、毎年10月、コース全体の草刈りを実施しています。

平成24年9月には、山頂の「白光神社奥の院」が台風の被害を受けたため、住民が自ら修繕しました。昨年は登山者のために、不足している標識や登山口の階段などを市と協力して整備しました。



住民による草刈り

白光神社奥の院の修繕(右)  
福用駅に飾られた風鈴(中)  
電車通学する児童たち(左)



地域の窓口で送る笑顔



おおいけよしこ  
大池好子さん(大池商店)

駅のトイレが清潔に保たれているので、登山以外で休憩に立ち寄るバスも多くなりました。お客さんとの会話が、楽しみの一つです。

「福用駅」は地域の玄関口であり、目の前には八高山の登山口もあります。ここで金谷福用簡易郵便局を営む大池商店は、食料品や日用雑貨を扱うほか、大井川鐵道から委託を受け、切符の代理販売を行っています。シーズンになると、下山後の登山者が、火照った体を癒すため商店に立ち寄ります。皆さんは、冷たい飲み物やアイスを手にとり、住民との会話を楽しんでくれている様子ですよ。



切符を受け取る利用者

ホームいっぱいの花畑

毎年7月上旬になると、子どもから大人まで大勢の住民が協力し、福用駅のホームにかわいらしい花のプランターを並べて、訪れた人の目を楽しませていきます。また昨年は、電車の待ち時間などに夏の暑さを凌いでもらうため、駅舎内にたくさんの風鈴を飾りました。



福用駅ホームで花の植え付け



いとうふうか  
伊藤楓華さん(五和小6年)

私は花が大好きなので、今年も参加します。ホームを花でいっぱいにして、来てくれた人に喜んでほしいです。

## ポイント紹介



### 1 白光神社 (麓)

健脚ルートの登山口で、昨年度、社の横へ新たに階段が整備されました。つり鐘は、もともと山頂の奥の院にあったものです。



### 3 木立トンネル

針葉樹がきれいに立ち並び、多くの登山者が木漏れ日に酔いしれて心を奪われるポイントです。ここまでくれば合流地点まであと少し。



### 5 反射板

昭和 37 年に設置されたテレビ電波の中継施設。縦 10 m × 横 10 m で、建設には地元の子どもの手のを借りたと記録されています。

# 地域に愛され 見守る八高山

八高山は、島田市と掛川市の境にそびえる標高 832m の山です。山頂にある白光神社奥の院の祭神は第 27 代安閑天皇で、修験者によって祀られたといわれています。北五和地区では、八高山を「地域を見守る山」として敬い、その環境保全に取り組んできました。麓の白光神社のお祭りは、かつて山頂の奥の院でとり行われ、露店商などが実際に山道を歩き、奥の院周辺に軒を連ねました。ハイキングコースには、珍しい樹木や高山植物が点在し、山歩きを一層楽しいものにしてくれます。また、健脚向けコースとしても知られ、近年は富士山の登山に備えたトレーニングとして訪れる人も多くなりました。

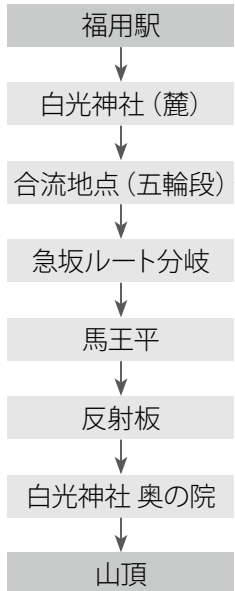


滑りやすいから  
気を付けて



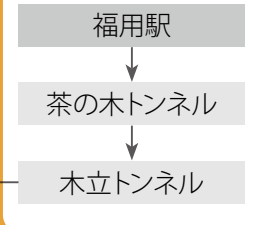
健脚ルート

約 8.7 km  
約 2 時間 30 分



なだらかルート

約 10 km  
約 2 時間 50 分



下山参考タイム

なだらかルート  
約 2 時間 5 分  
健脚ルート  
約 1 時間 35 分  
急坂ルート(下り用)  
約 1 時間



一等三角点は、三角測量の基準となる点で、約 40 km 間隔の高地に設置されています。



2 茶の木トンネル

なだらかルートを進むと、高く生い茂った「茶の木」に囲われたトンネルが出迎えます。かつて植えられた茶の木が成長した姿です。



4 馬王平

まおうだいら  
疲れて寝てしまった修験者の夢に、白馬に跨がった王様が現れたという言い伝えのある所。天気の良い日は富士山を望むことができます。



6 白光神社 奥の院

山頂まで残り 200 m の位置に建立された社です。参拝記録帳があるので、感想を書いてみては。(北緯 34°54'15"・東経 138°8'35")



7 山頂

東側に富士山や南アルプスの山々を、西側に小笠山や浜松のアクタワーなどを望むことができます。「一等三角点」も設置されています。



八高山  
五輪段から  
林間コース  
が続きます



白光神社の  
弾よけ祈願

すぎうらかずや  
杉浦一也さん(福用)

「戦勝祈願で白光神社を訪れた出征兵が、無事に戻ってお礼参りをしたことから、弾から守ってもらえる神社と言われるようになり、戦時中は本人やその家族が『弾よけ祈願』に大勢訪れたそうです」



八高山  
ここからは  
整備された  
林道ですよ

急坂ルート(下り用)

# 魅力がいっぱい

北五和地区には、八高山のように自然が生み出した魅力のほか、住民が協力し合って創出した魅力など、さまざまなお宝ポイントがあり、訪れた人たちを笑顔にしています。

## 欧風の「福用駅」

現在の福用駅舎は、島田市と姉妹都市であるスイス・ブリエンツを走る「ルートホルン鉄道」の駅を模して、平成10年に建てられました。



福用駅

かわいらしい三角屋根がとても人気で、訪れた際に記念撮影をする人が多くいます。夏には、地域の皆さんの協力で、駅舎内に風鈴がお目見え。下山後の疲れた心を癒しています。

## 県天然記念物「横臥褶曲」

福用から国道473号を南へ向かった神尾地区内に「竜門の滝」があります。ここでは、1億3000万年〜7000万

年前まで海底だった地層が横からの圧力で波状に曲げられ地表に露出している「横臥褶曲」を観察できます。地層を形成する岩はもろく、この様子を見られる場所は珍しいとされています。近年、同地区の大井川右岸でも発見されました。



横臥褶曲

## 黄色いタオルでおもてなし

農業を営む家庭の多い北五和地区では、農作業中に川根路を走るSLの乗客の皆さんに、手を振って歓迎しています。10月に開催されるSL



手を振って歓迎

フェスタでは、黄色いタオルを持つ住民で道路を埋め尽くしたり、駿遠学園の子どもたちが「駿遠太鼓」を披露したりして、旅の思い出に笑顔を添えています。

## ユニークな案山子が登場

SLフェスタの開催に合わせ、住民や駿遠学園の子どもたちなどが創作したユニークな案山子が登場。コンテストも行われ、どなたでも投票できます。また、今年は案山子の展示会場に地場産品の直売所を設置する予定です。



案山子展示会場

## 簡易トイレを設置中

市では、福用駅から北へ1.5km進んだ大井川河川敷（高熊本村）内に、7月から9月までの3か月間、簡易トイレを設置しています。これは地区の要望を受け、夏休みなどを利用して遊びに来る家族連れのために実施しているものです。

## 八高山を登ってみて

### 森林浴を満喫できる穴場



右：清水さん（御前崎市）  
左：竹田さん（御前崎市）

「いつも仲間と一緒に山歩きを楽しんでいます。木立トンネルの雰囲気最高で、森林浴しながらリフレッシュできました。八高山は穴場ですね」

### 始めたばかりでも楽しめるコース



右：山下さん（掛川市）  
左：植田さん（牧之原市）

「インターネットで、八高山のことを知りました。登山を始めて2回目の挑戦でしたが、気持ちよく歩けました。また来てみたいです」



今度は一緒に登ろうね



まずきよしかず 鈴木良和さん（北五和自治会長）

**地域間交流の幅を広げる**

私たちは「北五和茶と空気と水の美味しい郷」を掲げ、地域間交流の向上を目指しています。名峰八高山・大井川の清流・S・L・案山子など、魅力たっぷりの郷です。来訪者と住民のつながりを大切にし、駅舎清掃や周辺の環境整備、登山道の草刈りなどに、地区全体で取り組んでいます。今後は、子どもたちをはじめ、地域内外のさらなる接点拡大と交流の幅を広げるべく、さまざまな方法を考えていきます。ぜひ一度、北五和へお越しください。

**地域の絆が生む人と人のつながり**

八高山に登る人に尋ねると「ネットでのこの山を見つけました」と答えてくれました。実際に検索してみると「草を刈ってくれてあってホッとしました」という書き込みがありました。「おもてなしの気持ち」は、インターネットや口コミなどで住民の知らないうちに登山者の中で広がり、新たな人と人のつながりを生むきっかけになっているのです。

駅のホームでは、住民と登山者が山の話題で盛り上がり、乗車前に笑顔でお見送り。子どもたちの「今度は一緒に登ろうね」の言葉に、深まる人と人のつながりを感じました。地域活性化に向けた市民主体のまちづくりには、地域の特性を生かした取り組みが求められています。今後も市では、地域のまちづくりを支援していきます。

**【ハイキングコース】**

◎観光課 ☎36-7163

**【まちづくり支援事業交付金】**

市では、市民が主体的に取り組む事業で公益性を有するものに対し「まちづくり支援事業交付金」を交付しています。詳しくは、市ホームページ (<https://www.city.shimada.shizuoka.jp/kyodo/machikou.html>) をご覧ください。

◎協働推進課 ☎36-7402